

2013 年 7 月 22 日 「永遠なる幸福の基」 石川祐司教会長

今日は、石川祐司教会長の天一国憲法公聴会の参加報告と、説教でした。
以下に訓読のみ言を掲載いたします。

<訓読のみ言>

『天聖經』

真の家庭 第 1 1 章 家庭は永遠の幸福の土台

二 家庭は永遠なる幸福の基盤

人間の生活で、ある人を幸せな人だというとき、何を基準として幸福といいますか。外的にある能力、権勢、権威を備えたなら、幸福な人だということができますか。そういうことはあり得ません。また、何不自由のないお金があつたとすれば幸福な人ですか。そうではありません。また、世界的な知識をもっていて、世界を思うがままにできる位置にいるとして、彼が幸福な人になることができますか。決してそれだけで人が幸福なのではありません。

(23-11, 1969.5.11)

ある人が、これくらいなら天上天下にうらやましく思うものはないといって幸福を謳うとしても、そのような外的なものは幸福になり得ません。幸福を見いだす条件にはなり得ますが、幸福それ自体にはなり得ないのです。それでは、何が決定すれば、幸福を感じることができるのでしょうか。愛する父母がいて、夫婦がいて、子女がいなければなりません。これは、どこの誰も否定できません。ここにその一つだけでもなければ、そこに該当する比例的な悲しみを感じるのであり、比例的な不満がその胸の中に残らざるを得ないでしょう。(祝福家庭と理想天国 I -913)